



与謝野町

第6号

平成19年11月25日

議会だより



与謝野町の財政は…?

平成18年度決算を認定

野田川駅裏の整備

写真/町にも期待! おおきな収穫
(石川保育所)

平成18年度

厳しい意見の中

決算を認定

総額207億円



健康診断

9月議会のようす

9月定例会は6日から10月3日までの28日間の会期で開かれました。
18年度決算では、4日間にわたって審議を行ない、全会一致で認定しました。
また、19年度補正予算など、18議案を審議し、原案どおり可決しました。
9月議会は、のべ71人が発言し、活発な議会となりました。
一般質問では、16人が町政全般にわたり、鋭い指摘をし、町長らの見解を求めました。

与謝野町の財政は…

一般会計109億3371万円に対し、歳出は107億2912万円。市町村の財政状況を表す①財政力指数、②経常収支比率、③公債費比率でみると、

①財政力指数 0.316(3年平均)

標準的な行政の仕事を行うのに必要な費用を、どれだけ自前で調達できるかを示すもの。1以上なら、国からの交付税がない不交付団体となり、一般的に「財政が豊か」とされます。

②経常収支比率 93.9%

人件費などの経常経費が、使い道が限定されない一般財源にどれくらいの比率で占めるかによって財政の弾力性を示すもの。75%以下が望ましい。

③実質公債費比率 16.4%(3年平均)

支出総額の中でどれだけ返済金があるか。いわゆる自治体の借金の割合で10%を超えないことが望ましいとされています。



元気が一番 ころばぬ先の

●平成18年度会計別決算 【単位:万円】

	歳入	歳出
一般会計	109億3371	107億2912
簡易水道特別会計	11億4594	11億2093
宅地造成事業会計	661	1億5506
下水道特別会計	17億6340	17億6279
農業集落排水会計	1962	1962
介護保険会計	18億4787	17億9532
土地取得会計	175	142
石田土地区画 整理事業会計	0.4	0.4
国民健康保険会計	26億2505	26億1474
老人保健会計	22億9328	23億3673
財産区会計	892	892
水道事業会計		
(収益的収支)	事業収益 1億5789	事業費用 1億6725
(資本的収支)	資本的収入 1442	資本的支出 7463

その他の資料

一般会計借入金 … 136億0647万円
 特別会計借入金 … 166億1998万円
 積立金(貯金) …… 23億1432万円
 運用基金 …………… 4億0107万円
 町民一人当り借入金 …… 118万円
 町民一人当り貯金 …………… 9万円

一般会計 決算質疑

合併初年度の効果は

森本敏軌 議員

質問 18年度決算は黒字となり、財政指標から見

て良くなった面もあるが

町税収入は低く、経常収支比率は2%良くなり93.9%となったが、正常な75%から見れば悪い。また、一体感の醸成など合併効果は表れているか。

質問 有線テレビは旧加悦だけが恩恵を受けている。情報の共有の点から全町に広まるよう申し込きた。その考えは。

企画財政課長 地域情報化をどのように進めていくか地デジ対応も含め早く結論を出す必要がある。町としてどの方向でいくか研究を重ね、結論を出すべく協議をしている。

町長 合併初年度でもっと悪い数値が出ると思っただが常識的なところで納まった。18年度は3町の隔たりを無くし一体感の持てることを基本において。今後行革大綱の厳しい目標を到達するという強い意志でメリハリをつけ予算執行にあたりたい。

財産の管理把握は

質問 合併し多くの財産を引き継いだ。現状についてしっかりと把握整理されているか。

効率的な庁舎運営を

質問 3庁舎の管理に多額の予算が執行されている。改善への方策は。

総務課長 使用していない普通財産について、一定整理をすべく有効利用の委員会を立ち上げており処分するものは処分し活用できるものは利活用する対応をしてきたい。

町長 庁舎にかかる経費は絞っていくことが大事。3つあるものを2つ、将来的には1つという方向

情報の共有化を

質問 23号台風で旧加悦町は大被害に。この教訓を生かすため、新町では災害に強いまちづくりを柱にしてきたが。

総務課長 防災計画や防災マップを作った。今後、諸対策を具体化したい。

町長 検討したい。

教訓生かし災害に強い

まちづくりを

伊藤 幸男 議員

質問 23号台風で旧加悦町は大被害に。この教訓を生かすため、新町では災害に強いまちづくりを柱にしてきたが。

住宅改修助成事業を

質問 地域循環型施策の商品券事業をしてきた。旧加悦町で経済効果18倍の住宅改修助成事業がされた。税金を効果的に使

うために実施を。

システム変更の問題点

勢旗 毅 議員

質問 合併前に電算システムの変更がされた。このことについて何かの問題がおき、特に移行データの誤り、消込や繰越損失の関係で過誤調整に問題があり、大変なご苦労を聞いた。この理解でよかったか。

明石・香河線の進捗は

質問 明石・香河線全体の進捗状況は。

建設課長 20年度で峠頂上部分の供用開始を予定している。

質問 現道改良から国道176までの延伸は。

建設課長 時間は必要だが地域の要望もそこにあり、明石市内の改良後の最終目標にしている。

どうする? 与謝野町

小林 庸夫 議員

質問 町へ納める各種税金、使用料等々の現年度分と滞納繰越分の未納額について憂慮されるが、こういった状況に対して町の考えを聞きたい。

町にとっても非常に厳しい状況である。どうしたら国を維持していけるのか、町を維持していけるのか、また我が家庭を維持していけるのか、各々が真剣に考えるときがきていると思う。町民の生活の下支えになる施策に今後取り組む。

地域力再生に企業誘致

質問 産業誘致のための町内の立地はどこか。

商工観光課長 丹工岩滝加工場グラウンド、日本

冶金グラウンド、岩滝浜公園など可能性ある候補地として調査している。

質問 府企業誘致連絡会議とは。具体的な企業名も聞くことができるか。身の丈に合った企業なら誘致は可能ではないか。

企業訪問もふくめて産業誘致や地域力再生に取り組んでいたきたい。

商工観光課長 企業誘致の連絡協議会で情報交換を行っている。また京都府のHP掲載、加盟市町との連絡・情報もあり。商工会とも連携の上、空き工場・空き店舗情報など企業誘致、仕事誘致に力を入れていく考え。

いのしかに悲鳴

質問 有害鳥獣対策として現在一頭処理費用5千円だがアップできないか。

農林課長 予算のこともあり、今後の検討課題。



納税しやすい方法を!!

納税方法の多様化を

浪江 郁雄 議員

質問 町民の方が納税しやすいよう、新たな納税方法として、クレジット・カード納税や、コンビニ納税の考えは。

質問 町民の方が納税しやすいよう、新たな納税方法として、クレジット・カード納税や、コンビニ納税の考えは。

質問 インターネットは授業でも利用されている。最近ネットを介した、いじめや犯罪が問題になっているが。

質問 国が70歳以上の医療費を1割から2割に増やす。町は府と協力して1割に据置を。

質問 府が少人数授業から少人数学級へと、一層の充実策を示した。当町でも30人学級を進めるべきでは。

質問 府が少人数授業から少人数学級へと、一層の充実策を示した。当町でも30人学級を進めるべきでは。

京都府でも30人学級に

野村 生八 議員

質問 府が少人数授業から少人数学級へと、一層の充実策を示した。当町でも30人学級を進めるべきでは。

質問 府が少人数授業から少人数学級へと、一層の充実策を示した。当町でも30人学級を進めるべきでは。

教育長 そのことは承知しており、府と十分協議し進めたい。

質問 府が少人数授業から少人数学級へと、一層の充実策を示した。当町でも30人学級を進めるべきでは。

高齢者医療費増やすな

質問 国が70歳以上の医療費を1割から2割に増やす。町は府と協力して1割に据置を。

福祉課長 町独自の施策で、利用者負担を減らすよう努めてきた。事業費は年間約2600万円減った。今後も、事業を充実させる努力をする。



図工の時間。たのしいなあ～

リフレかやの里が黒字に 手本とせよ

服部博和議員

質問 今まで赤字続きだったのが今期黒字になった。職員のがんばりが一番、一番に経費の大幅削減が要因と思える。ほかの施設も見習ってほしい。

農林課長 職員一丸となって良くがんばって来られた。入浴券の販売も目標を大幅にクリアされた。今後ほかの模範となるようがんばってほしい。

町の融資制度の復活を

質問 責任共有制度の新設により、負債に関する責任が生じるようになった。そのため、町独自融資制度が廃止された。この不況の中で廃止は産業振興に背を向ける行為だ。復活を要望する。

商工観光課長 国や府の制度融資も充実された。近隣の市町も廃止の方向、それに責任共有制度が新設されたため総合的に判断した。産業振興については、思い切った施策、企画を考えていく。意気込みだけは感じてほしい。

加悦町史で 全国にPRを

質問 立派な町史が完成した。全国の主だった図書館、資料館、歴史館等へ無償で配布し、当町の歴史的価値を広くPRして頂きたい。

教育推進課長 1500部作製した。高額での販売は禁じられているが、3500円程度で販売を考えている。無償で全国施設に配布することも考慮してみる。

赤松孝一議員

質問 阿蘇ンサイド公園に、グラウンド・ゴルフ場の建設をすれば、相乗効果が期待できる。

町長 検討する。

地区公民館 整備事業

質問 地区公民館の維持運営管理費等の扱いは2年間の据え置き期間を設ける必要がある。

町長 検討する。

都市公園整備事業



みんなが集える公園に!

農振農用地除外の現状と見通しは

家城 功議員

質問 農振除外の申請が受理されているのに、決定が最大で7年待たされている方があると聞いています。一日も早い対応をお願いします。現在京都府と協議している。早い時期の対応に努力する。

キャンプ場の現状は

質問 キャンプ場の管理にも費用はかかる。収益を求めることも大切。現状と今後の考え方は。

商工観光課長 経費と収入のバランスを考え、管理をしっかりとした中で、運営したいと考えています。

ムダをなくす業務を

質問 色々な事業に計画策定委託料の支出がある。もっと職員が智慧を出し経費を少なくすることが大切だと考えるが。

企画財政課長 努力はするが、専門的分野において必要性もある。ご理解いただきたい。



ランチバイキングも大好評!

決算にあたり 借金は 増えたのか

谷口 忠弘 議員

質問 最小の経費で最大の効果が発揮できたのか、

加悦図書館を1階に

質問 町内で3ヶ所あるが利用者数で加悦が極端に少ない。現在の位置では利便性が悪くスペースも狭い。是非1階に移し、

町長 真に必要な事業の見極めと、工夫した財政運営を図って参りたい。

商工会合併事業に

質問 加悦町商工会で行われている商品券発行事業の成果は。
商工観光課長 地域内通貨として、活性化が図れたと考えている。

質問 来年合併される商工会で、全町流通の商品券事業が計画されたら。
商工観光課長 その時にあって検討したい。

多重債務に苦しむ人に救済を

畠山 伸枝 議員

質問 多重債務の再計算で過払い分を取り戻して滞納した税金が払えた例もあると聞くが、相談に応じる窓口を作る考えは。
住民環境課長 法律相談があり、特に考えていない。京都弁護士会の動向もみながら考えたい。

質問 多重債務者にとつて法律相談は敷居が高い。不安な毎日を過ごしている人々を早急に救済することは町の課題では。
町長 敷居が高くて敬遠せず来てほしい。早く相談し手を打つことが大切。お金の相談にもつてくれる。

地域経済は不振、公共事業を町内へ

多田 正成 議員

質問 小中学校の耐震診断調査、工事実施設計、補強工事と委託費が町外へ、地域経済循環のため、に町内委託が増えないか、行政としてもっと仕組みがないか。
教育次長 指摘の通り町外委託が多い。請負公募の際、当町業者が二社だったことも現実であり、今後はできるだけ町内業者で努力して頂きたい。

質問 小中学校の耐震診断調査、工事実施設計、補強工事と委託費が町外へと移行し、民活により営利業務など改善され成果の出ている所もあるものの、財政支出が増加傾向にあり制度が充分機能していない。
商工観光課長 民活を期待し3ヶ年の推移を見守りたい。後は当然見直す必要がある。

高校卒業まで

医療費無料化を

質問 子どもの医療費を減免する自治体には、国の制裁があると聞くが。
保健課長 乳幼児医療のほかに障害者や母子の医療にも制裁措置がある。
質問 少子化対策に逆行する重大な問題だが、一

方で国は来年から児童の医療費の父母負担を軽減する方向に改善する。高校生までの無料化も夢ではないのでは。
福祉課長 財政が厳しく経費を減らすよう求められており、事務事業を見直す中で考えたい。



借りるのは簡単！でも…

災害時の指令室 公民館の 耐震調査

井田 義之 議員



公民館は大丈夫? 耐震強度

質問 学校の耐震診断が18年度で終了した。各公民館は地区にとって重要なすべての拠点である。耐震診断の実施計画は。
教育次長 今のところ計画がない。経費的な試算もできていない。

三河内郷土資料室

有吉 正 議員

質問 民家を借り資料の保管倉庫とされているが、岩滝の旧石寛工場に移されたらどうか。たかが36万円と思ってはならない。
教育長 郷土資料室のできるまでの経過を考慮しなければならぬ。埋蔵文化財もあわせて検討していきたい。

総務課長 参考にして生かしていく。

農業井堰マップ

質問 水防にも関係する井堰マップを関係者、受益面積併せて作る必要がある。
農林課長 作っていききたい。

洪水防災マップ

質問 国・府の補助金を受け全戸配布された。よく出来た洪水マップだと

集合住宅建設

質問 岩屋小学校の児童数の減少で、何とかしなければという思いでいるが、堀口副町長には府とのパイプ役として期待している。府営住宅の状況は。難しいのであれば合併特例債を使って町営住宅の建設を。
副町長 どちらにも非常に

ハードとソフトが 一体化した政策を

与謝野クラブ

家城 功 議員

平成18年度の一般会計は、改善すべき課題も多くあるが、太田町長のローカルマネジエ

ストも取り入れた事業も執行され、合併初年度から、積極的に町民の暮らしや健康を守るとともに、地域力再生に向けた施策が推進されたのではないかと実感でき高く評価できる。町民の戸惑いや不満もまだまだ多い中、深刻化する地方財源の改革とからんだ中で、

賛成 討論

今後も暮らしを守る

町政運営に期待

日本共産党

野村 生八 議員

国の「構造改革」により、住民の負担が増え、地方交付税の削減など地

ハードとソフトが一体化した、町民が安全で安心して心豊かに生活できるまちづくりをめざし、一層の努力に期待し賛成とする。

方切り捨ても進み、どこも厳しい財政運営です。

このような中、合併協議と太田町長の「マネジエスト」を具体化した第一歩の決算です。全区で住民の声を聞きながら、ソフト事業を優先して暮らしを支える町政運営がされています。

ほかの合併自治体と比べれば、まずまず無難な船出と評価できます。

今後も、住民・職員のエネルギを信頼し、一層の暮らしを守る町政運営に期待します。



今後の課題!! 資料の保管
~三河内郷土資料室~

特別会計決算

簡易水道

給水停止措置は、慎重な対応を
伊藤 幸男 議員

質問 滞納対策で給水停止をしているが、生活困窮層もあり、慎重にすべきでは。

水道課長 慎重にする。

下水道

下水道計画の見直しは
勢旗 毅 議員

質問 町があっせんし、債務保証している下水道への改良融資が通らないケースが出ている。

えると借金ができず、後継者がいない場合は、加入が困難な世帯が出ている。下水道計画の見直しも必要ではないか。

下水道課長 町が預託し債務保証しているが、個々には難しいケースも聞いている。

下水道課長 20年度は事業再評価の年にあたり、これまでとは別の検討が求められると思う。

下水道

不況下で加入促進をどうするのか
伊藤 幸男 議員

質問 深刻な不況下で家計収入が激減している。加入促進策は。

下水道課長 現在の2つの促進支援策で、今後も工夫し努力したい。

介護保険

介護サービスが悪化しているが
伊藤 幸男 議員

質問 制度改悪で施設管理者も職員も条件が悪化し、お年寄りもサービス

低下で困っているが。
福祉課長 国に改善要望している。

土地取得

未整理のまま金屋工業団地の借入れ
井田 義之 議員

質問 土地開発公社の支払利息のうち、工業団地分が57万円ある。すべて

返済すべきでないか。
企画財政課長 台風23号の被災等で遅れた経緯もあるが、できれば3月中に返済したい。

老人保健

後期高齢者医療の凍結
野村 生八 議員

質問 与謝野町の1人当たり医療費は府下で一番低いかなぜか。

じ保険料が請求されるようになる。こつという制度は凍結すべきでは。

保健課長 健康診断の無料化と保健活動に力をいれているからだと思う。

町長 町にとって問題は大きく、国に声を上げていく。

質問 京都市の約半分しか医療費を使っていないのに、来年4月から後期高齢者医療制度で府下同

財産区

契約の履行できるのか
緑資源機構
井田 義之 議員

質問 与謝財産区と緑資源機構との分収造林契約がある。機構の年末解散説もあった。見通しは。

町長 現時点では引き続き契約は履行されると聞いている。
総務課長 まだ調整できていない。

財産区との契約条件

質問 財産区の土地を町が利用する時、内容が違っている。統一見解は。



みんなの財産。山の緑

駅裏整備に2156万円など

一般会計2号補正 1億1248万円の追加

●9月の補正予算

【単位:万円】

補正予算名	補正額	累計総額	
一般会計2号	1億1248	104億4107	
特別会計	簡易水道2号	1490	9億1646
	下水道会計1号	59	18億0367
	介護保険2号	6632	19億7819
	国民健康保険2号	△6781	25億0407

電算システム管理 1083
 平和通りなど整備事業 1905
 野田川駅裏整備 2156
 消火栓移転等工事 400
 地域福祉空間整備
 高齢者公的介護施設等整備 1500
 地域医療確保奨学金 1800
 90

質疑
 服部・勢籟・小林・伊藤・浪江・森本・畠山・廣野・野村・赤松・多田・井田・今田・上山・有吉・谷口

主な事業

(単位/万円)

補正予算では、野田川駅裏整備のほかに地域介護施設整備への交付金、後期高齢者保険制度が始まるためのシステム整備委託料などが提案され、熱心な論議となりました。特別会計を含め全員賛成で可決しました。

特別支援教員はたりているか

浪江 郁雄 議員

質問 2名追加の経過は。
教育長 本来の必要に加え、2学期から府の補助教員がいなくなる。
質問 学校現場の要望に対しては。
教育長 要望はあるが、基本は教員全員の総かりでの支援が原則で、そういう体制・意識がないと理念が失われる。



野田川駅舎

野田川

補正予算

医師不足は産科・小児科もだが

・ 畠山伸枝議員

質問 与謝の海病院に研修医が来られるとのことだが、産科や小児科も十分とは言えない。産科などの研修医は含まれないのか。

保健課長 今回は一般の医師の分だけと聞いており、期間は10月から半年間の予定。

町営住宅の建替えを

野村生八議員

質問 今後の町営住宅の建替え計画は。

建設課長 建替えのための、基本的な整備計画をつくり進める。

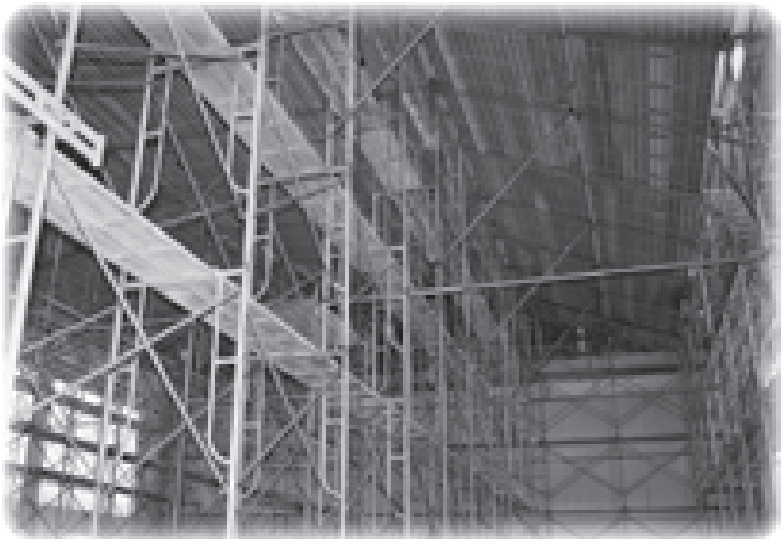
なぜ遅れた石川小 耐震補強工事

井田義之議員

質問 9月に入って石川小の体育館工事が始まった。2学期まるまる体育館が使えない。授業に影響はないのか。

教育次長 昨年度に設計したが、照明のオートリ

フターの追加、積雪荷重の計算ミス等があり、実施設計のやり直して、工事の発注が遅れた。
教育長 学校や子ども達に迷惑をかけおわびする。



三河内小・体育館 耐震工事中

施設と財政支出の バランスを

多田正成議員

質問 営利目的でない施設とはいえ、クアハウスの財政支出が増加傾向にある。18年度の事業計画に期待をしていたが不振に終わっている。くい込みの多い部門は切る時は

切るといった大幅な見直しが必要では。
商工観光課長 18年度の事業は思うようにいかなかった。運営委員会で検討をしていた。

阿蘇シーサイド事業などの 見直しを

伊藤幸男議員

質問 阿蘇シー事業など将来の財政負担になる事業を見直すべきでは。

町長 見直したい。

地域バス運行を早く

質問 地域バス運行を急ぐべきではないか。

企画財政課長 できるだけ急ぎたい。

プラテック臭気調査

質問 住民の願いに応えた町独自の調査費計上を評価する。同調査は。

住民環境課長 臭気調査は業者選定や手法など含め、今後具体化したい。



利用しやすさをめざし
駅裏整備

身近な所で介護サービスの支援を

上山光正 議員

質問 今年度、与謝区で計画中の小規模多機能型施設(要介護者の容態や希望に応じて訪問や泊まりを組み合わせて生活を支援するサービス)は多種多様に变化している。

町長 入所希望の待機者が多い中で、早急に話を進めるべき事業と思うが。

町長 与謝区の意志決定

質問 不妊治療を受けられ、18年度のおめでたい話は何件あったか。

保健課長 15名の方に不妊治療の助成を行ない、14名の女性の方と男性1名で、その内6名の方が出産、2名の方が妊娠中ということ、非常にありがたいと思っている。

質問 非常に投資効果の高いホットな補助金ですが、補助金などのアップについての考えは。

を受け断念せざるを得ない状況の中で、若干の時間的なズレもあり非常に混乱をさせたが、与謝区の新築計画から加悦奥地域の民家を改修する事業計画に移行することで、加悦奥区、隣接の区民の皆さんに了解が得られたので、19年度事業で施設整備ができる。

不妊治療の給付助成は

保健課長 補助金は限度額が3万円で、保険診療の一部負担金を対象としている。体外受精など保険対象外で、大変なお金のかかる治療については府の補助金制度があるがこの制度は限度額が10万円なので、府に対して限度額の引き上げを強く要望している。

今まで協議を十分にしてきたのか

谷口忠弘 議員

質問 小規模多機能型居宅介護施設がこの時点になって、場所と運営母体が大きく変わった。もっと事前に行政と運営者側が協議を進めるべきではなかったのか。

町長 行政は支援体制を整え支援できるよう努めた。後はそれぞれの団体に意志決定をお願いし、このような結果になった。



介護やりハビリは大変。受け入れ先の充実を

その他の補正 予算審議状況

簡易水道特別会計
2号補正

全員賛成

下水道特別会計
1号補正

全員賛成

介護保険特別会計
2号補正

質疑 勢旗
全員賛成

国民健康保険特別会計
2号補正

全員賛成

—— 前号「議会だより5号」の訂正とお詫び ——

- ① P4の上から3段目の教育長答弁のうち、「2泊3日」を→「3泊4日」に、「溪流下り」を→「沢登り」に訂正。
- ② P7の1段目の中ほどの、「14m³の」を→「千m³の」に訂正。
- ③ P9の上から3段目の福祉課長答弁のうち、「町所有の残地が坪3千8百円」を→「町所有の残地が坪3万8千円」に訂正します。(5月臨時会の財産取得)

その他の審議案件



地域の問題の一つ。医者不足

その他の審議では、財産管理委員の選任をはじめ、各種条例の改正、請負契約の締結や、町道路線認定等が提案され、すべての案件が可決された。

岩瀨母と

子どものセンター
指定管理者の指定

質疑 赤松・森本・上山

(全員賛成)

算所浄水場

改良(土木)工事の
請負契約の締結

質疑 伊藤

(全員賛成)

地域医療確保に係る

奨学金等の条例の制定

なぜ民間病院が対象にならないか

伊藤 幸男 議員

質問 なぜ民間施設の場合は対応しないのか。
保健課長 一部の民間は対象にしている。

住民を不安から守る医療を

多田 正成 議員

質問 医師不足による地域医療確保奨学金制度の導入は大切だが、当町の不安は小児科、産婦人科の不足、そのための制度が重要ではないか。

保健課長 全国的にその傾向にあり、小児科・産科については他科15万円に対し特別に5万円増の奨学金となっている。

質疑 小林・谷口・伊藤・井田・上山・有吉・多田

(全員賛成)

町道路線の変更

石川亀山地区の
町道延伸に期待

井田 義之 議員

質問 認定後の工事の計画と与謝の園まで延長は。
建設課長 今年度は測量と設計、工事は20年度当初予算に反映したい。
延伸も視野に入れているが遠い将来と思う。

質疑 井田

(全員賛成)

町道路線の認定

質疑 井田・赤松・上山
(全員賛成)

—— 広報特別委員会からのお願い ——

- 「町民の皆様は議会を、よりわかりやすくお伝えする」このことをめざして委員全員が研修会に参加したり、視察研修したりと、日々一生懸命にがんばっています。
- 今回から、少しずつ紙面も内容も見やすく、理解していただきやすいように改善していきます。
- 皆様のご意見やご感想も参考にさせていただきたく、ご協力お願いします。

意見書・陳情書

地方道路整備の
促進と財源確保に
関する意見書

(審議経過)

廣野産業建設常任委員長から提案説明のあと、質疑を行い原案通り可決した。

質疑 野村・勢旗

もっと強調
する必要

勢旗 毅 議員

質問 近畿自動車道敦賀線にふれていない点や、

鳥取豊岡宮津線の内、一部の区間では現在調査区間にもなっていないところもあり、もっと強調する必要はないか。
提出者 委員会でも特に議論はなかった。

地上デジタルテレビ
放送に関する意見書

(意見書の要旨)

一、平成23年7月24日までの完全移行に向けて周知徹底を図ること。
二、山間部など、この地域でも視聴できるような支援措置を図ること。
三、生活保護世帯などの低所得者に過度の負担がないよう支援を行うこと。

(審議経過)

谷口議員から提案説明のあと、質疑を行い原案どおり可決した。

質疑 畠山・多田

(賛成討論 伊藤)

賛成討論

日本も欧米のように打ち切り延期を
伊藤 幸男 議員

97年、郵政省「地上デジタル懇談会」提言でデジタル受信機が85%を達成した

時点でアナログ放送の打ち切り時期を検討するとなっていた。ところが政府が業界の要請を受け、2001年に「11年7月にアナログ放送打ち切り」法案を強行した。

今年6月のデジタル普及率は2割強で、11年の打ち切り時点、1400万台が「テレビ難民」になりかねない状況であり、打ち切り延期が求められている。本意見書案は基本的に国民の願いを反映しており、賛成である。

負担が少ないのがベスト！
店頭に並び地デジのチューナー



後期高齢者医療制度創設に伴う老人医療費助成制度(老)の堅持、拡充を求める陳情書

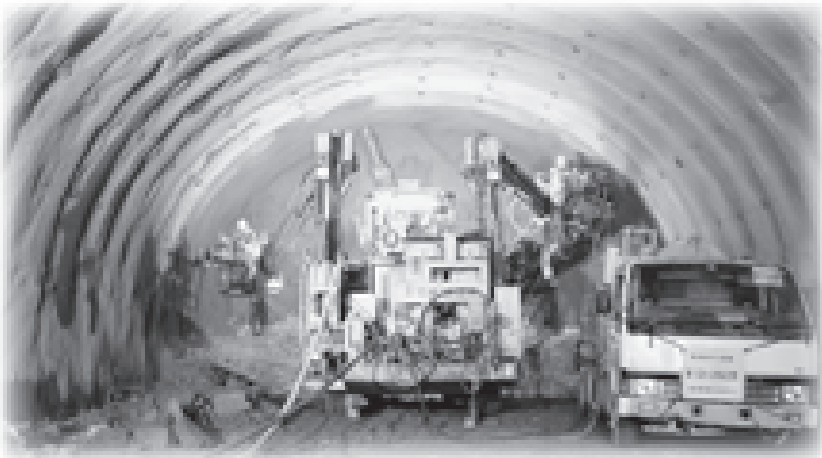
(提出者)

京都府保険医協会理事長 関 浩

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情書

(提出者)

森歯科医院院長・京都府歯科保険医協会理事長 森 良太



鳥取豊岡宮津線 着々と！

[質問議員と内容]

与謝野町のランドデザインを問う
服部 博和 議員

産業振興・雇用対策が遅れてないか
谷口 忠弘 議員

ゴミの処理計画と町長の考え方を問う
上山 光正 議員

地域づくりを支える公民館活動
野村 生八 議員

効率効果的な公共交通の整備を
森本 敏軌 議員

個人住宅の耐震補強工事に補助金を
有吉 正 議員

合併目前の商工会に期待すること
家城 功 議員

打つ手はないのか、活性化対策
赤松 孝一 議員

財源対策としての投票条例は
勢旗 毅 議員

インフルエンザ予防接種に助成を
浪江 郁雄 議員

ムダのない、地元が潤う入札制度を
伊藤 幸男 議員

行革答申に対し具現化が出来るか
多田 正成 議員

デジタル化でテレビ難民生まぬ策を
畠山 伸枝 議員

公民館活動の推進は時間をかけて
今田 博文 議員

プラント4の現状は
廣野 安樹 議員

どうする? 厳しい財政の現状と今後
井田 義之 議員

ここが聞きたい
9月定例会は16人が質問しました

与謝野町のランドデザインを問う 構想を肉づけし12月に提案する

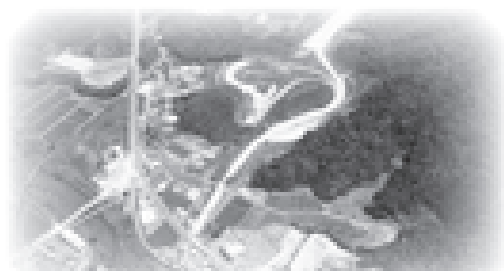


服部 博和 議員

一方温暖化防止が声高に叫ばれている。CO2を出さない大量輸送が可能な電車への期待が高まっている。今度、KTR促進の一助として駅裏から乗降できるよう工事が実施される。第二バイパスが完成

近年中に須津インターの開設を控え企業進出は更に進むことが必定である。だが、バイパス沿に余地は少なく、せつかくの就職の機会と町への税還元が閉ざれることになる。

服部 今、丹後は疲弊している。早急に働く場所を確保し生活基盤の安定をはかる必要がある。基本的には工場誘致も考慮しなければならぬ。一朝一夕には望めない。そのため野田川駅裏に第二バイパスを提案する。



空から見た与謝野(?) インターチェンジ付近

町長 壮大な構想なので今は答えられない。今後はじっくり考えて見たい。産業振興計画については、業者の意見を聞きながら有効な施策を打ち立てて行きたい。

また町独自融資制度の復活を強く望む。これを機に電化と特急の始発駅を目指すべきだ。次に商店、企業に対して産業振興計画をこれまた早急に示す必要がある。

ゴミの処理計画と町長の考え方を問う 方向性が決まれば、整備に向け協議する

上山 衣食住から出るゴミの量は、年々増

加し数年後には最終処分場が満杯になる予定。

処分場の延命策と宮津市に委託している焼却場も近年には、改築及び新設が必要となる。

与謝野町の焼却ゴミ処理計画の選択肢は幾通りが考えられるか。

町長 埋立てゴミを減らすよう啓発を強め、

可燃、不燃、資源、大型ゴミはゴミ処理全体の中で延命策を考えたい。

宮津市清掃工場は一年間の使用延長で地元同意が得られたが、平成25年が使用のリミットと考えている。

新たなゴミ焼却処理の

方向性が確認され次第、施設整備に向けた協議の進行にあわせ検討委員会を立ち上げたい。

与謝野町の選択肢は、京丹後市を含む2市2町現在の1市2町か、単独整備かの三通り。



上山 光正 議員



いつまで使える? 最終処分場

効率効果的な公共交通の整備を 検討組織を立ち上げ、実現に向け進めたい



森本 敏軌 議員

森本 バス路線に対し多くの補助金が投入されているが、利用頻度も低いなか、バスの行かない地域では何らかの足の確保が待たれてい

る、効率効果的な足の確保を。
町長 バス全路線の乗降調査と交通不便地区での検討会を立ち上げ、実現に向け進めたい。

与謝野駅への改名を

森本 丹後天橋立大江山国定公園の指定もされ、KTRの駅名を全国でも知られている与謝野に改名し、誘客を図り活性化に結びつけられた

いが。
町長 合併を機に与謝野駅に改名し全国に与謝野町をPRする効果や町の活性化への理解はできるが、全国の券売機など多くの変更が必要で、多額の費用が必要、全額町の負担となり非常に困難だ。

学力テスト結果公表は

森本 43年ぶりに全国学力テストが実施さ

れ、学校、自治体間の学力格差を把握し学力向上に役立てるとされており、本町の生徒も臨んだ学力テスト結果が公表される。本町での公表がいかにかに学力向上に役立たせられるか。
教育長 授業改善や、各学校の学力充実に役立てたい。学校間の序列や過度な競争を招く恐れがあるため、学校別の公表はしない。



家城 功 議員

合併目前の商工会に期待すること 組織のあり方を真剣に考えてほしい

家城 来春4月に旧三町の商工会が合併するが、組織に望む事、行政との連携等、町長の考えは。

町長 会員の意識改革をされた上で、どういった組織であるべきかを真剣に議論し方向性の充実を図っていただきたい。行政も連携を図るために必要な分野においては耳を傾けバックアップする。

交通安全について

家城 交通事故は絶対にあってはならない。今年も100件以上の事故が管内でも発生している。京都府では50人以上の人が命を亡くされている。ちよつとした気配りや習慣で防げた事故も多い。

①旧町でチャイルドシートの購入補助制度があったが新町での考えは。

②安全教室等で使用される備品の充実を。

③高齢者の事故は年々増加している。学校や幼保と連携し安全教室実施を。

④交通公園の建設を。

町長 ①一定の成果が得られたとの判断で廃止。

②事故防止のため、要望等を検討し充実を図る。

③高齢者の交通安全指導は今後の検討課題である。

④必要との意見が多くあれば視野に入れた対策も。しかし、現在のところハード整備より安全教育の内容の充実に取り組む。

財源対策としての投票条例は 新しい試みとして検討に値する



勢旗 毅 議員

勢旗 地元のみでなく全国の個人や団体から寄付を募り、共感できる自治体事業の応援ができ、税制上の恩典も受けられる「寄付による投票条例」がある。町にとっても寄付の多寡によって社会的評価を受けるが。

町長 財源の汎用性に疑問は残るが新しい試みとして検討に値する施策、国のふるさと納税制度との行方も絡んでくる。

第二期計画への取組は

勢旗 京とつふ加悦の里が操業開始して7年になる。当初の計画では第二期計画として第二の湯布院にしたいとの熱い思いを聞いたが、現状はどうか。計画達成が困難とすると、残った用地を活かす方策が必要だ。

町長 現段階では見通しがたっていない。現状は従業員26名、年率で18%の伸びと聞いており計画として製造ラインの増設予定もあるが、現状で止まるなら用地を活かす方策を会社と十分協議したい。

農業用排水路の改修を

勢旗 農業用排水路、加悦B線、明石ソブ川の改修要望が寄せられてから50年以上経過しており早急な改修が必要だ。

町長 ソブ川については明石農事組合と10月に現地調査を計画しており、調整していきたい。

ムダのない、地元が潤う入札制度を 透明性と公正な競争で地元企業者育成を

伊藤 本来公共事業は生活基盤と国土

保全の役割もあるが、日本では60年代から巨大開発、列島改造、民間活力論やリゾート開発、90年代にはバブルが崩壊し、景気対策と米国の圧力で膨大な予算が組まれ、大手ゼネコンへの事業を進めてきた。小泉内閣でも「選択と集中」という名で大型事業を進めてきた。この数年でも、国と地方で不正談合事件が多発し、入札改革に取り組んでいる。大事なのは、不正根絶と無駄をなくした財政の効果的運用、地元業者の育成だと私は考えている。小規模事業



伊藤 幸男 議員



地元業者の育成を

は地元業者に優先し、仕事づくりとして位置付けるべきだ。町の入札問題について伺いたい。

町長 旧町では入札基準が明確でなかった部分もあり問題を発生させた。新町では制度の透明性を向上させ、粗悪成果品の回避、公正な競争の下での業者育成をめざした。業者ランク付けも法的な経審基準や除雪など社会的貢献なども加味し、予定価格と最低価格公表は積算根拠となる工事費内訳書を義務付けた。今後よりよい制度改革を模索したい。

デジタル化でテレビ難民生まぬ策を 来年夏までに国が支援決める



畠山 伸枝 議員

畠山 政府は4年後に、

- 1 いまのアナログ放送を打ち切り、デジタル放送に移す計画を進めている。
- 2 テレビが映らない地域もあり、テレビを買い替えることも大きな負担だ。また使えるテレビを無理やり廃棄物にしてしまうことも問題だ。
- 3 このままではテレビを見られない人が多くでる。不完全なままでの完全移行は許されない。

国に対して次のことを要求すべきだと考える。

- 1 条件が整うまでアナログ放送を打ち切らないこと。
- 2 低所得者や高齢者へ補助金を出すこと。
- 3 デジタル化のため自治体が使った費用を、国が負担すること。

町長 町の皆さんのために言っべきことはいい、他の町とも協力したい。経済的な理由でテレビを見られなくなる世帯に対する支援は、来年夏までに国が検討し公表する。

保育料の見直しを

畠山 住民税非課税が課税になると一万円も上がるのは納得がいかない。低所得者へもっと配慮を。

町長 来年の見直しと併せて、より良い基準額になるように、近隣の市町とも比較して見直したい。

大きく育て！保育園の運動会





廣野 安樹 議員

プリント4の現状は 期限を定め公文書で通知を検討

廣野 プラント4の進出には、町民の多くが関心を持っておられる。

大型店の進出は全国で多くの問題が起きているが、プラントの大型店は来るのか。

町長 出店計画から8年が経過、都市計画法の改正の中、床面積の規制で、進出には、計画の変更を行わないと出店できない状況にある。

廣野 認定された町道の現状と今後の取組みは。

町長 プラントが造成し町に寄付する道路。この道路は、地域からも要望があり、今後のまちづくりからも検討したい。

早期にETCの設置を

廣野 宮津・天橋立インターチェンジにて、早期にETCの設置を。

町長 利用者の不満が多い中、国や府に要望している。府では有料道路のETC整備費用に国の無利子貸付制度を活用し、対応すると聞いている。

廣野 野田川、岩滝インターの仮称は、与謝野町のPRの名称にすべきと思うが。

町長 町に関する名称が付けば、町のPRにもなり有難いよ。

産業振興・雇用対策が遅れてないか 事業の成果を生かしていきたい



谷口 忠弘 議員

谷口 一企業の支援策に限界がきている。現存する人や、ポテンシャルを活用して異質な産業同士を結びつけ開発していきたい。

町長 現在そうした取り組みが進んでいるところであり、支援していきたい。

雇用対策を急ぐべきだ

谷口 福祉事業で雇用増加が見られるが、全般的には厳しい状況だ。今般報告書が出来上がり、町の取り組みが急がれるが。

町長 特別チームを立ち上げ実行計画を作成し、国の承認を得て進めていきたい。

企業誘致策はあるのか

谷口 町長自身が、府や企業を訪問して、トップセールスを展開すべきだと思う。また、土地の確保がなされているのか。

町長 出張など機会あるごとに努力はしている。土地は町内数ヶ所考えている。

公募債発行でインフラ

谷口 町内での放送・通信の不公平感をなくするため、町内全域に光ファイバー網を布設することに、公募債の発行を考えた。

町長 発行は可能だし、この手法は有益であると思う。事例を見て、調査研究をしている。

地域づくりを支える公民館活動 地域課題への公民館活動に前向きに検討する

野村 21世紀型のまちづくりには、住民参加が大切である。行政の出先機関としての地域協議会が全国で作られている。

教育長 地域活動の拠点、地域の人づくりの役割が期待されている。運営方法の改善に努める。

このような新しい時代の公民館活動は、地域課題に向き合い、地域づくりを支える人材を育てる活動が大切ではないか。だからこそ、小さな地域でも取り組める公民館活動が求められる。

区は自治組織を明確に

野村 新聞で「町内会、自立の兆し」の特集が組まれた。区が、行政の下請け的な仕事に疑問を持つ自治区が、全国で増えている。与謝野町では、区の位置づけ、関係はどうか。自治区であるなら、町が合併しても、区の運営形態を同じにする必要はないのではないか。区は、区民の暮らしや思いに基づき、長い歴史の中で育ってきたもので、その地域性を生かしてこそ、行政やまちづくりに貢献もできるし、働もできるのではないか。

町長 区は住民の自治組織であり、行政の都合で左右されるべきではないと思う。また、対等な立場で協働をすすめていく。



野村 生八 議員



有吉 正 議員

有吉 耐震診断は3万円。国1/2、府・町1/4ずつ、自己負担2千円までできる。個人の住宅の耐震補強工事にも補助金が出せないか。国・府の考えはいかがか。

町長 個人住宅の耐震補強工事に対する補助金は、現在国・府で補助制度を創設することで準備が進められている。町の促進計画は条件のひとつである。詳細な内容・条件はまだ未定。

商工会合併と産業振興

有吉 3町商工会が来年4月に合併される。合併記念に向けて、新たなスタートへのプロジェクトチームを作られては。

町長 合併準備の段階ではなく、新商工会が誕生し、方向性、組織体制が整った段階で調整を図りたい。

里守犬登録審査会設置

有吉 環境省も適正なしつけ訓練をした追い払い犬を認めることになった。それを受け保健所と協議した。来春に里守犬第一号ができる予定

だが、先進地では登録審査会を設置されている。

町長 登録審査会は町内の状況を見て判断したい。

豆っ子肥料施設の修繕

有吉 フル稼働できる状況でない。早急な対応を。

町長 来年度の予算編成の中で十分検討する。

対応を。

る。



赤松 孝一 議員



産業振興も町づくりの大切な項目。
こどもの未来はわれわれの責任

打つ手はないのか、活性化対策 決め手となるものはない

赤松 住民所得は府下最
下位、地域産業振
興対策を。

①町長自らが産業振興
の実行に際して強いリー
ダーシップを発揮する。

②産業振興の必要性を
理解して、独自戦略・ピ
ジョンを明確にする。

③キーパーソンを発
掘・育成し、その精力的
な活動をバックアップす
る。

④町内部の関係課の横
断的な連携を強化する。

⑤個別企業を対象とし
た重点的な事業支援をす
る。

⑥産業振興のための財
政措置と財源の確保に力
を入れる。

町長 特効薬はない。「地
域雇用創造調査研
究事業報告書」を更に分

析して実現可能なもの
取組を検討したい。

直接的な施策は民間に
委ね、行政としては、そ
の支援策の充実を図って
いくことが必要と考える。

産業振興計画を早急に
立てる必要があると考え
ている。

インフルエンザ予防接種に助成を 今後も個人の負担で実施していただく



浪江 郁雄 議員

浪江 当町では、
通常65才

以上であれば、
自己負担額千円
で、1回予防接
種を受けること
が出来る。子ど
もの場合、2回
接種するが、保

険適用外で費用は病院に
より異なり、1回当たり
3千円〜5千円。なるべ
く費用の安い病院を利用
する親が多い。乳幼児・
学童のインフルエンザ予
防接種費用を助成できな
いか。

町長 予防接種法に基づ
き実施している。

乳幼児・学童は法律の対
象外。予防接種は、あく
までも予防という性格の
もの。

浪江 最近予防の重視が
言われている。医
療制度改革、介護保険制
度改革も予防の重視だ。
結果として財政的効果が
ついてくると思うが。

町長 今の段階では、予
防接種をするかど
うかは親の選択と判断に
委ねる。

児童虐待発生予防対策

浪江 児童虐待は、発見や対応が遅れるほど親と子
どもの両方に対する手厚い支援が必要になる。

早期発見・早期対応の体制の強化が必要。

町長 保健師や保育士に注意深く観察するよう指示
をしている。また、一時保護など緊急措置も
実施している。今年度中には「児童虐待ネットワー
ク会議」を設立したい。

行革答申に対し具現化が出来るか 5ヶ年で20億の削減は厳しいが、努力する

多田 将来を見据え、的を射た改革案に対して行政はごまかすまで具現化できるのか。庁舎、幼保小中学校の統廃合、経常収支比率90%、5ヶ年で20億の経費削減案など。

と思っているが行革案の目標に沿って努力する。

プラント出店の現況

多田 プラント問題が宙に浮いたままで、その在り方によって、地権者の方、農業問題、都市計画、土地利用など現在進めているまちづくり計画が定まらないのでは。

行政と商工会の役割を

多田 商工会は業者の集りで組織されていて自からの努力は当然ですが、行政の各支援事業を商工会へ託すことによって各業界が活発に事業ができるのでは。



多田 正成 議員

町長 そう願いたい。合併を期に組織業務強化が図られるよう期待している。トップ会談は一定の時期を見て話し合っていく。



今田 博文 議員

公民館活動の推進は時間をかけて 活動の意義を理解してほしい

今田 公民館活動が推進されている。理念や目標は。

教育長 伝統文化の継承、グラウンド・ゴルフなど世代間の交流、人権意識の高揚、高齢者や障害者への配慮、災害時の避難場所など重要性が増す。公民館はこうした地域づくり、人づくりを目指す。

今田 旧野田川町の活動を引き継いでいる。検証された上での制度になっているのか。

教育長 課題もあるが研修会にも参加し、検討しながら進めている。

今田 自治会の人口や世帯数も大きく違う中、一律に進めているのか。

教育長 規定のプログラムは目標で強制していない。

公民館はどれも同じ

今田 建設、改築の場合は用地を町に寄付しなければならぬ。地縁法人化している公民館は町有地と同じ扱い。

教育長 後々問題が生じる。町有地がベスト。

今田 町有施設は公民館の電気、水道、電話、火災保険など町の負担になっている。手厚くするのは、自助共助、公助の精神につながるのか。

町長 地域コミュニティ形成に大きな役割を担っている。精神に反しない。

どうする? 厳しい財政の現状と今後

肝に銘じ、スクラップ＆ビルドによる健全化

井田 行政改革大綱の中
間案が示された。

5ヶ年で歳出を20億円削減することを目標とし、種々の提言がなされている。この改革が実行できなければ従来の住民サービスも低下する。実行の対策は。

税等の徴収対策

井田 税等の収納率が低すぎる。財源を大きく左右するがその改善策は。

町長

年末と年度末の特別徴収対策で、ある程度効果はあった。府と市町村の税務事務の共同化がスタートしており、徴収のノウハウを府職員から取り入れ効率化を進める。



井田 義之 議員

町長 本答申後にどのような方策で目標を達成することが出来るのか、具体策を検討する。

小・幼・保の検討委

井田 少子化・生徒数のアンバランス、加えて財政へのウエイトも多だ。立ち上げが遅すぎる。

町長

待ったなしの課題と認識している。策定中の総合計画の答申を受け、行動を起こしたい。

総合庁舎への目標年次

井田 一歩づつ3庁舎を2庁舎に、総合庁舎へ。

町長

税務事務の共同化に合わせ、税務・住民環境を他庁舎に移転し北庁舎のみとしたい。一本化へ目標年次は持っていないが、建設はせず、岩滝が加悦を総合庁舎とする議論の余地はある。

旧岩滝町での年金着服問題についての与謝野町の対応と見解

※この件で新聞報道もあり、9月議会冒頭に議員から緊急動議で同事件の全容報告を求められていたもので、議会議中に、太田町長から報告があった概要です。

- ▼この問題の事件概要は、昭和42年頃に岩滝町国民年金係の男性職員が被保険者から徴収した国民年金掛金を着服したものです。また一部に、個人が受け取るべき年金給付金の着服もありました。
- ▼これらは、京都府から被保険者宅へ送付された督促状が発端となり、発覚したものです。
- ▼着服の額は、366,720円であり、400人分です。内訳は、年金掛金が398人分で311,320円、個人が受け取るべき母子福祉年金・母子年金給付金が2人分で55,400円であり、この着服金額は、本人から弁済されています。
- ▼今回の「旧岩滝町での年金着服問題」報道の経過は、さる8月7日、総務省の指示で、京都府から「過去における職員などによる年金保険料の着服事案について可能な限り、さかのぼって調査」し、8月14日までに報告するよう照会があり、その取りまとめ(8月14日時点)の結果を、国が報道対応したものです。

- ▼その後も、岩滝地域振興課で調査を続けましたが、40年前のことで、当時勤務していた職員もいない中で、内容把握に時間がかかったものの、書類精査を行なうとともに、当時の事務整理に関わった元職員らの協力も得て、前述のような全容の解明ができました。
- ▼この処理対応については、最終的に昭和43年2月28日付で町長から京都府の年金課長宛に報告しております。また、着服した職員は昭和42年7月31日付で懲戒免職となっており、当時の町長・助役・直属の課長は、懲戒による減給処分を受けています。
- ▼なお、この事件に関しては、昭和42年9月11日に町議会で「町政刷新特別委員会(7人)」が設置され、真相究明へ集中的に取り組みられ、その結果は議会報告されています。またこれと平行して、監査委員による監査も行なわれています。
- ▼以上の内容は、今年9月11日に、2回目の京都社会保険事務局からの調査があり、回答しております。
- ▼これを教訓に、職員共ども、気を引き締めて町政運営に努めたいと思います。

橋立中学校の紹介

天橋立と同じ、黒松の松並木が自慢の橋立中学校です。全校生徒数は327名、今年は、部活動や陸上の大会でも力を発揮し、好成績を上げています。学習面では「伝えあう」ことを大切に、豊かな表現力の育成をめざしています。

橋立中「一年井上さやか」
人権

■1年 井上 さやか

五千「三年一色祐見」
流行氷雲

■3年 一色 祐見

まのまの
まのまのページ

ただ心の中で

どんな人間でも一度は思う「強くなりたい。」と「優しくなりたい。」と
「優しさ」とは何だ人に穏やかに接することか
「強さ」とは何だ喧嘩に負けない拳を持つことか
「そうではないはずだ」と言い切ることも出来ない僕頭の中で言葉が回る
本当の優しさや強さとは…それは僕にはわからないけれどいつか見つけたいただ願望とするのではなく自分の手で探したい自分の持つ「心」で

■3年 川嶋 基起

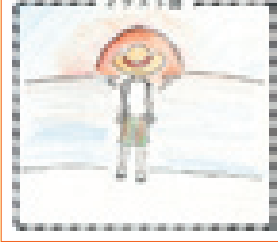
「幸せと思うこと10」

今 十四歳
父と母から命をもらって十四年たったこの十四年間
学んだ 遊んだ 怒った 泣いた 嬉しかった 悲しかった
すごく楽しかった
十四年間で 私の命は小さな命から大きな命になっていると思う
そして私はこれからも強く 大きくするために生きるんだ
命があること 私は幸せだと思う

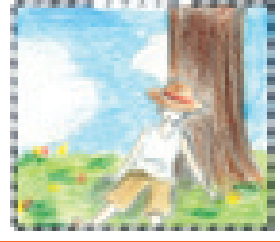
■3年 中尾 麻由

わが夏をあこがれのみが
駆けざれり 麦葉帽子 被りて眠る
(寺山修司)

イメージ画



■2年 三田 友可里



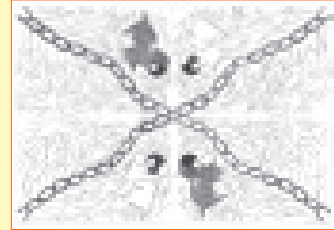
■2年 矢野 奏子

390名の生徒が天築ヶ丘の校舎で学んでいます。昭和22年に開校し、まもなく11,000名を超える卒業生を送り出そうとしています。部活動も活発で全国で活躍する選手を輩出しています。「主体的に考え、行動し、創造性豊かで、心身ともに健康な生徒の育成」を教育目標に掲げ、「学んでよかったと思える学校に」を合言葉に、明るいあいさつの響く学校です。

江陽中学校の紹介



■3年 寺島 英郎



■3年 笛岡 妙子



■3年 藤田 未紡



■3年 由利 美彩



■1年 荒川 柚香



■1年 山口 柊子



■1年 千賀 奈々美



■1年 茂龍 香代子

編集後記

▼議会だよりは、住民の皆様に対する議会の報告書であるとともに、住民の皆様と議会を結ぶ架け橋です▼決して議員や議会のための広報ではなく、住民の皆様のための情報誌と考えています▼広報研修会や広報行政視察などで研修し、今回から広報誌の顔である表紙を刷新しました▼また専門用語や難解語の置き換え、原稿の取りまとめと割付レイアウトの設定を見直し、とにかく読者の皆様に分かりやすく読みやすい紙面づくりに取り組みました▼改善すべき課題もありますが、読者の皆様の貴重なご意見やご感想をお寄せ下さい。

(浪江)

議会広報特別委員会

- 委員長 山城 功
副委員長 島山 伸枝
委員 上山 光正
小林 庸夫
伊藤 幸男
服部 博和
浪江 郁雄